

平成17年度 土別地方中体連バスケットボール大会 男子 決勝 戦評

		2 - 24		
和寒中	36	14 - 14	81	土別中
		12 - 22		
		8 - 21		

主審 斉藤

副審 倉口

第1ピリオド

和寒中2 - 3のゾーンディフェンス、土別中マンツーマンディフェンスで試合開始。開始早々、土別中は前川のドライブ、高橋の速攻、佐々木のドライブなどで着々と加点する。和寒中は、なかなか得点できず0点のまま試合が進行していく。5分過ぎ和寒中 後藤(拓)のドライブからのレイアップシュートがきまり、初得点をあげる。しかしその後の追加点はなく、2 - 24と一方的な展開で1Pを終了した。

第2ピリオド

第2ピリオド和寒中は、開始から荒瀬 藤原の連続速攻で得点をあげる。更に、後藤(拓)の連続得点などで加点していく。リズムに乗った和寒中は2Pで14点をあげた。ディフェンスでも、土別中を14点に押さえこのピリオドは14 - 14の同点、トータルで16 - 38と、何とか後半に望みをつなく形で前半を終了した。

第3ピリオド

第3ピリオドも、引き続き和寒中2 - 3ゾーン、土別中マンツーマンで開始された。和寒中は何とか点差をつめようと、後藤(拓)のゴール下のショット、後藤(広)のドライブで得点していく。しかし、土別中も佐々木の3P 菊地のインサイドプレーで加点し簡単に点差をつめさせない。結局、和寒中はこのピリオド12点をあげたが、土別中も22点をあげ、28 - 60と点差を広げられる結果となった。

第4ピリオド

和寒中は、二口のリバウンドショット、後藤(拓)の連続得点 荒瀬の速攻で8点をあげた。更にディフェンスで頑張り、相手の得点を減らしたいところだったが、土別中の得点は止まらず、このピリオドも21得点を許してしまう。結局 36 - 81 というスコアで男子決勝を終えた。

戦評 杉本 仁